



News Letter

第75号：発行日 令和6年12月26日

血液検査の結果について

はじめに

健康診断では、様々な項目の血液検査を行います。

今回は、多くの方が受ける「血液一般」「血清蛋白」「炎症」の3つの項目について解説します。ご自身の結果と照らし合わせてご確認ください。



① 血液一般について

血液一般では、「白血球数」「赤血球数」「血色素量」「血小板数」の4つの項目を基本に、人により、さらに「ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC」といった項目を調べます。

白血球

- ✓はたらき：細菌などから体を守る免疫のはたらきをしています
- ✓高値の場合：カゼなどの急性感染症、炎症性疾患、アレルギー反応、腫瘍など
 - *たばこを吸っている人は高めになります
- ✓低値の場合：骨髄抑制、慢性的な疲労、重大な感染症、ビタミンB12や葉酸の欠乏



赤血球

- ✓はたらき：肺で取り入れた酸素を肺から全身に運び、不要になった二酸化炭素を回収して肺へ送るはたらきをしています
- ✓高値の場合：二次性多血症、**脱水**など
- ✓低値の場合：貧血(鉄欠乏、ビタミンB12欠乏、葉酸欠乏)、慢性炎症、出血



血色素(ヘモグロビン)

- ✓はたらき：血色素は赤血球に含まれ、酸素の運搬を助けるはたらきをしています
- ✓高値の場合：多血症、**脱水**
- ✓低値の場合：貧血(鉄欠乏、ビタミンB12欠乏、葉酸欠乏)、出血

⚠ **脱水**だと高い値になりやすいため、検診前日は、十分に水を飲みましょう!



血小板

- ✓はたらき：出血した時、その部分に粘着して血を止めるはたらきをしています
- ✓高値の場合：血小板血症
- ✓低値の場合：再生不良性貧血などの骨髄での生産低下、特発性血小板減少性紫



👉 いずれの項目も、高い場合も、低い場合も、その原因を突き止めることが必要です。

② 血清蛋白について

血液の中には100種類以上の蛋白質が存在し、それぞれ重要なはたらきをしています。「総蛋白」とは、血液中に存在しているすべての蛋白質の総和のことです。「アルブミン」とは総蛋白のうち、約60%を占める蛋白質の一つです。

- ✓高値の場合：脱水(脱水により血液が濃縮され、総蛋白値が一時的に高くなる可能性があります)
慢性炎症や膠原病、多発性骨髄腫
- ✓低値の場合：低栄養(食事が十分にとれていない方、感染症や心臓病などの急性疾患)、肝硬変などの肝機能障害、ネフローゼ症候群

⚠ 脱水を予防するため

検診前日は、十分に水を飲みましょう！



当日も朝7時までに200mlの水は飲んで構いません。

👉 高い場合も、低い場合も、その原因を突き止めることが必要です。

③ 炎症(CRP) について

体のどこかに、痛み、赤み、腫れ、熱、が生じ、それらに伴い機能障害をおこすことを「炎症」といいます。CRPとは体に炎症が起こった時に血液中に増えるたんぱく質です。

- ✓高値の場合：細菌感染症、ウイルス感染症、リウマチ熱、心筋梗塞など
炎症が重症であるほど、数値は高くなり、炎症がよくなると数値もさがります
ただし、どの部位に炎症が起きているのかは、CRPだけではわかりません

👉 健康な方でもカゼなどの細菌、ウイルス感染の後では高い値を示すことがあります。

おわりに

D判定(要精密検査/要受診)となった項目については、原因を調べるための精密検査が必要です。外来を受診してご相談ください。

D判定以外の項目は、気になる症状がなければ、翌年の健康診断で経過をみましょう。なぜなら、血液検査は「基準値」や「正常値」をもとに判定するため、基準値より少しでも高いとB判定となりますが、わずかな値の上昇や低下は問題とならないことが多いからです。



健康診断の結果で気になるところや、わからないところがあった方はご相談ください。

検査の予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。
今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803 / E-mail: mail@soiken.or.jp